

指定管理業務評価表(所管課評価基準表)

施設名	富士見市立中央図書館・富士見市立図書館ふじみ野分館	令和元年度	事業報告
指定管理者名	紀伊國屋書店・アクティオ管理運営共同企業体		
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日	所管課	教育委員会 生涯学習課

自己評価…指定管理者 所管評価…市(施設所管課)

	個別評価項目	確認基準	自己評価	所管評価	施設所管課評価意見
1 業務の実施体制	人員体制	安定的な運営のための人員を配置している。	A	A	
		必要な資格や経験を有する人員が配置されている。	A	A	
		責任者(代理する者)が施設に常駐している。	A	A	
	職員の対応等	仕事内容を十分に把握し、利用者対応を迅速かつ適正に行っている。	A	A	
		利用者の要望や苦情等に対して適切に対応している。	A	A	
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A	
		事業計画に基づき職員研修を計画的に実施している。	A	A	
	法令等の順守	法令、条例等に基づき管理運営を行っている。	A	A	
	個人情報保護・情報公開	個人情報保護及び情報公開に関する規程が整備され、適切に対応できる。基本協定書個人情報取扱特記事項を遵守している。	A	A	
安全・緊急対策	緊急時マニュアルの策定とそれに基づく訓練の実施、連絡・対応体制の整備ができています。	A	A		
報告書の提出	定期報告書等を期限内に提出している。	A	A		
2 業務の内容・水準	維持管理	清掃、警備、衛生管理を適切に行い、利用者が施設を快適に利用できる環境となっている。	A	A	
		施設・設備・図書館システムの保守管理を適切に行い、利用者が安全・快適に施設を利用できている。	A	A	
		修繕を適切に実施している。	A	A	
		備品台帳に基づき備品を適切に管理している。	A	A	
		外部委託の内容について、事前に市の承認を受けている。	A	A	
	事業運営	条例等の規定に基づき、開館日時を遵守している。	A	A	
		資料選定・受入業務が適切に行われている。	A	A	
		資料管理業務が適切に行われている。	A	A	
		窓口サービス業務が適切に行われている。	A	A	
		レファレンス業務が適切に行われている。	A	A	
		図書室・公共施設サービスが適切に行われている。	A	A	
		ホームページや広報紙等での広報活動が適切に行われている。	A	A	
		視聴覚ライブラリー業務が適切に行われている。	A	A	
		障がい奉仕業務が適切に行われている。	A	A	
		児童・YA向け事業が適切に行われている。	A	A	
		一般向け事業が適切に行われている。	A	A	
		提案事業が適切に行われ、利用者サービスの向上に寄与している。	A	A	
		地域、ボランティア、他機関との連携に努めている。	A	A	
	利用者の要望	利用者の要望等の把握方法及び対応策は適切である。	A	A	
	利用状況	利用者数、貸出点数等は、適切な水準にある。	A	A	
管理記録	業務日誌及び点検、修繕の履歴を適切に記録、整備、保管している。	A	A		
環境配慮	省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進に努めている。	A	A		
3 収支等	収支状況及び経理事務	収支の状況及び経理の処理が適正である。	A	A	
総合評価			A	A	
成果・課題等	(自己評価) 昨年のリニューアルオープンに引き続き、年間を通じて利用者が多かった。特に学習スペースを利用される方が多く、週末またテスト期間などは、学生だけでなく、一般の利用者の方にも数多く利用いただいた。また、ふじみ野駅前の公共施設ピアザ☆ふじみでの資料の受け取り件数が、月を追うごとに増加していき、最終的に前年比160%増となった。図書館まつり2019も、今年は中央図書館開館25周年と渋谷定輔没後30年が重なった特別な年であったため、2日間に分けてイベントを行った。開催にあたっては、多くの関係者にご協力いただき、市内各部署・関係施設との連携が深まった。1月にはシステム入れ替えのため1週間、2月は蔵書点検でさらに1週間休館し、これから、というときに新型コロナウイルスの影響で通常業務が行えず、接触を防ぐため予約資料の受け渡しと返却のみの取り扱いとなった。そうするとインターネット、電話で数多くのリクエストをいただき、3月4日以降、予約冊数が一日300～500冊に上った。音訳者養成講座中級編を終えた音訳者たちが、上級編を受講するのを楽しみにしていたが、こちらも新型コロナウイルスの影響で講座の開催の見通しが立たないのが非常に残念である。				
	(所管評価) 学習席・閲覧席の利用も定着し、滞在型利用が増えたところではあったが、コロナウイルスの影響により、3月は滞在しない形での利用となった。この間は、館内閲覧ができないことから、おすすめ本セットの用意、読書関係のインターネットの紹介等、工夫したサービスを実施した。また、通常開館期間中の事業については第2回ビブリオバトル大賞実施における学校連携、読み聞かせに工作や実験等を加えた形のおはなし会の実施等、事業内容の充実にも努めた。利用状況も安定してきたことから総合評価はAとする。				